

令和5(2023)年度総合型選抜【11月5日(土)-6日(日)実施】の、「講義の聴講及び講義に関する課題レポート」について、2分野から各1題を出題しました。各課題のタイトルおよび出題意図は以下の通りです。

#### 1.『超スマート社会とパーソナライゼーション』

日本が目指す超スマート社会 Society 5.0 では、一人一人の人間が中心となる社会が期待できる。一方、人間が人工知能(AI)やロボットにより監視され支配され得るという懸念がある。本講義では、これまでの情報社会を支えるインターネット検索技術と Society 5.0 を支えるサイバー・フィジカル・システム(CPS)について概説した。課題レポートでは、ウェブページの重要度を算出する関係式の立式、Society 5.0 の目的と技術の要約、付随する懸念と内閣府が示す文章に関する自身の考えを論じることを求めた。加えて、個人の能力を評価するインターネットサービスを利用する際の注意点について論じることを求めた。これらにより、論理的思考力、表現力、判断力等を評価した。

#### 2.『紙で保存する世界からデジタルデータで保存する世界へ』

DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展が、社会の様々な分野に波及している。本講義では、DXの定義を確認し、電子署名法、デジタル手続法等の法律を踏まえ、情報の保管や取り扱いが紙媒体からデジタル媒体へ移行することで生じる実務上の留意点を解説した。課題レポートでは、DXの説明、企業が判子を押して文書を作成・保存してきた理由及び電子署名法の導入の理由について論じることを求めた。加えて、DXの進展に伴い、文書・情報の保管・管理が紙媒体からデジタル媒体へ移行することで変化する社会に対する備えについて論じることを求めた。これらにより、社会課題への関心、論理的思考力、表現力等を評価した。